

総合評価結果報告書

施設の名称	こどもクリエイティブタウン		
課名	産業政策課		
指定管理者名	株式会社丹青社		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和2年6月7日(月)		
評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 大村 博 (経済局次長兼商工部長) ②委員 金丸 貴之 (参与兼産業政策課長) ③ " 谷川 良英 (産業振興課長) ④ " 大石 彰男 ((一財)静岡経済研究所 主任研究員) ⑤ " 岸本 道明 (国立大学法人 静岡大学 特任教授)		
評価点 (各委員平均点)	86.8点	評価	A・ B ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>指定管理者のネットワークなどを活かし、仕様書及び事業計画書に記載してある事業や取組みは十分に実施されているものと判断する。</p> <p>主要事業であるこどもバザール(おしごとごっこ体験)では、こどもの意見を運営に反映するなど、こどもの自主性を尊重した事業実施がなされている。また、商店街をはじめとした地元事業者等と連携し、新たなしごと・ものづくり講座を実施するなど、こどもに様々な体験ができる場を提供できている。</p> <p>利用者アンケート等により利用者意見を把握し、さらなる満足度の向上や利用者増加に努めている。</p> <p>また、令和2年度においてはコロナ対策として入館制限やZoomを利用した講座の開催などコロナ禍を踏まえた施設運営がされており、指定管理者の創意工夫が見られた。</p> <p>今後については、施設の利用者の増加に向けたさらなる企業、地域(商店街)等の連携先の獲得や連携強化、情報発信の強化が期待される。</p>		

総合評価結果総括表

施設の名称 [こどもクリエイティブタウン]

課名 [産業政策課]

指定管理者名 [株式会社丹青社]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(1) 仕様書等に示された事業が予定どおり円滑に実施されたか。	30	28	31	28	34	30.2
(ア) 模擬店舗等における仕事やものづくりの体験の事業	8	8	8	8	10	8.4
(イ) 仕事やものづくりを通じた創造力の育成を目的とする講座、研修等の事業	5	4	5	4	5	4.6
(ウ) 仕事やものづくりを通じた創造力の育成を目的とする展示及び情報提供等の事業	4	4	4	5	5	4.4
(エ) 学校等の団体利用に関する事業	5	4	5	3	4	4.2
(オ) 記念イベントの企画運営	4	4	5	4	5	4.4
(カ) 市民・企業・研究教育機関等との協働による運営に関する事業	4	4	4	4	5	4.2
(2) 施設利用に関する業務が適切に実施されたか。	5	5	5	5	5	5.0
(3) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置されたか。	5	5	5	5	5	5.0
(4) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施されたか。	5	5	5	5	5	5.0
小 計	45	43	46	43	49	45.2
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						
(1) 将来の施設利用者の増加に向けた事業が実施されたか。	12	12	12	12	9	11.4
小 計	12	12	12	12	9	11.4
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(1) 施設の利用状況について検証し、改善に向けた取り組みがなされているか。	10	10	10	10	10	10
(2) 利用者の満足度調査を実施し、結果を反映させた運営を行っているか。	5	5	5	5	5	5
小 計	15	15	15	15	15	15
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						

(1) 企業・地域（商店街）等との連携・交流を積極的に行い、利用者満足度の高い事業が実施されているか。	16	16	12	16	16	15.2
小 計	16	16	12	16	16	15.2
合 計	88	86	85	83	92	86.8

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

<p>【A評価委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自主性を育てる取組みがされている ・地域企業や商店街との連携がとれている ・団体利用の増につなげている ・未就学児親子を対象とした様々なメニューが実施されており、来館者の維持につながっている。 ・高い満足度を維持し、改善に取り組んでいる。 ・地域、企業との連携、交流の更なる広がりを期待したい
<p>【B評価委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数等の目標を上回り、仕様書、事業計画書どおりに事業が実施されている。 ・特段の不具合や事故なく、適切な業務実施がなされている。 ・未就学時の段階からの巻き込みに創意工夫が見られる。より効果的な情報発信に期待したい。 ・スタッフミーティングや運営会議、また利用者アンケートを通じて検討を行い、随時具体的に改善を行っている。 ・企業、地域（商店街）との多様な連携事業が数多く実施されている。今後、立地を生かした更なる地域（商店街）との連携及び効果的な情報発信を期待したい。
<p>【C評価委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書通りの数字が達成されておりコロナ禍の中でも工夫しているところが見られる。 ・平成31年度の実績数字に前年と比べて増減が見られるが、こうした内容を分析して次の事業展開につなげることが望ましい。コロナ禍での今後の事業につなげる工夫になってくれれば良い。 ・表示板は低学年でもわかるように「ひらがな」中心としたらいかがか。 ・SNS、スマホ、ゲーム等、屋内にて過ごすことが増えているので、いかに魅力的なプログラムを組むことが重要な意味を持つてくる。 ・利用者の満足度調査に当たっては、数字のみならず、それぞれのコメントの分析があると望ましい。少数意見でも取り上げる必要がある。 ・ボランティアについてもフォローがあってもいいと思う。 ・おおむね地域との連携がはかられていると思われるが、毎年少しずつ範囲とか対象を広げていく努力が望ましい。 ・ややマンネリの様子がうかがえる。 ・もう少し多くの企業との連携が図られると良いと思います。

【D評価委員】

- ・学校等へのPRを強化し、コロナ禍でも利用されるようになって欲しい。
- ・新しい共同企業の発掘に期待したい。
- ・頑張っていると思うが、利用者が減少しているので情報発信に力を入れて欲しい。
- ・毎年アンケートを検証して改善につなげている。希望としては小学生のなりたい職業ランキングが発表されているので、それを利用しても良いと思う。（小学生のニーズ）
- ・新しい共同企業を増やしてほしい。
- ・アフターコロナでは、商店街との事業も積極的に行い、清水のまちを元気にしてほしい。

【E評価委員】

- ・概ね仕様書及び事業計画書以上に事業が実施、運営されている。（今後は“withコロナ”の中での対応となり難しい面もあるが）
- ・SNS（Twitter、LINE）によりアピールしていくことも検討してはどうか。
- ・未就学児の獲得として約1万人/年を動員しており、概ね十分な成果が見られる。
- ・満足度も高く常に改善が図られている。
- ・概ね利用者満足度が高く事業が実施されているが、地域の特色を活かしてほしい。

評価委員会としての意見

- ・仕様書及び事業計画書のとおり適切な施設運営、業務実施が行われている。
- ・指定管理者の企業、地域等とのネットワークを活かした事業展開が図られている。今後も施設の利用者数の増加に向けて、更なる企業や地域（商店街）等とのネットワークの拡大に努めて欲しい。
- ・施設のターゲット層のニーズにあった事業内容の検討などに期待したい。